

大学における子育て支援
—地域・人との繋がりを深める子育て支援—

宇都宮共和大学 子ども生活学部

菊地葵 大友歩未 高橋のりか 海野史帆

竹尾毬愛 西川綺華 根本桃華

発表の流れ・目次

1. 親子遊びの会の意義と目的
2. 親子遊びの会の活動と2023年度の活動方針
3. 本事業の取り組み
4. これまでの活動報告
5. 気づきおよび今後の課題

親子遊びの会とは

- 参加者は、**地域の子育て家庭**であり、子どもの年齢は主に0歳～6歳としている。
- 活動は、親子で過ごす時間、保護者と教員の懇談、子どもの遊びの時間で構成される。
- 学生は、自主的に参加している1年生～4年生である。
- 学生は、親子で過ごす時間には活動のテーマを設け、活動の計画と準備、当日の運営、遊びの支援を行う。

親子遊びの会の意義と目的



子育て支援
研究センター

親子遊びの会

子どもの遊びの支援

親子関係の支援

子ども・家族同士の繋がり

作り支援

教員のサポートのもと、学生スタッフが主体的に運営に携わり、子どもと子どもと保護者への関与も経験できることで、学生の保育実践力やコミュニケーション能力などの養成に繋げることが可能

2023年度の活動方針

- 2023年度は、新たな活動目標を『地域・人との繋がり』をテーマに、地域の子育て支援団体・サークルなどとも連携し、地域の子育て支援ニーズを掘り起こしつつ、本学が地域の子育て支援の拠点のひとつとして役割機能を充実させることを目指す。
- 地域連携を通して新たなネットワークを構築し、地域との関係を強化することで、栃木県の「笑顔輝く子ども・子育て支援プロジェクト」の一助になるものと期待できる。

本事業の取り組み

今年度の活動テーマ 『地域・人との繋がり』



宇都宮市内の子育てサークルと連携し、新たな地域ニーズを掘り起こし、子育て支援の活動拠点化を目指して活動する

子育てサークルのひとつ『Kodomomomフィットネス』『とちぎ多胎ネット』と連携し、親子が主体的に参加し楽しむことを目標として、保護者の方と情報交換し、共同イベントを開催する。

2023年度後半の活動実績

- 11/4 親子イベント「親子運動遊び」
- 12/3 親子イベント「お正月遊び」
- 12/9 クリスマスマーケット
- 12/17 東京研修

親子運動遊び



親子運動遊び



親子のふれあい



遊びコーナー



性教育の講座



クリスマスマーケット①

12月9日に宇都宮共和大学シティライフキャンパスで行いました。

意義：親子で一緒にクリスマスを楽しめる場を提供する



クリスマスマーケット②

ハンドベルに合わせて歌ったり、クリスマスカードをつくったりしよう



お正月遊び



羽子板



コマ



だるま落とし



餅つき



東京研修 (フレーベル館・国際子ども図書館)



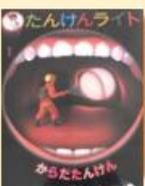
国際子ども図書館



食育の資料制作

親子遊びの会 食育絵本紹介

親子遊びの会では研修として、国際子ども図書館の「おいしい児童書」の展示会に行きました。その中でも、特に子どもたちに読んでもらいたい食育の絵本として選んだ8冊の絵本をご紹介します！

 <p>くだもの 作：平山 和子</p>	<p>くだもの 作：平山 和子</p> <p>おいしそうなお菓子の絵がたくさん描かれていて、すぐに食べたいくなる絵本です！色彩がとても鮮やかなところも素敵ですね。</p>	 <p>たべものはどこからやってくる？ 作：アグスティーン・トワイニ 訳：早島明子</p>	<p>たべものはどこからやってくる？ 作：アグスティーン・トワイニ 訳：早島明子</p> <p>この絵本からは、食べ物を食べるまでに、たくさんの人々が関わっていることを学ぶことができます。社会への興味関心が深まる一冊です！</p>
 <p>給食室のいちいち 文：大塚 葉生 絵：インヤマ アズサ</p>	<p>給食室のいちいち 文：大塚 葉生 絵：インヤマ アズサ</p> <p>みんなで食べる給食はどうやって作っているんだろう？そんな疑問に答えてくれる一冊です！</p>	 <p>ここからおいしさをかかるとおいしい 作：たな</p>	<p>ここからおいしいよかんがするよ 作：たな</p> <p>絵本を読み進めると、子どももおいしいよかんがしてくるはず！食べ物を食べる前のワクワクがたまっています！</p>
 <p>おべんとうバス 作・絵：真味 まりこ</p>	<p>おべんとうバス 作・絵：真味 まりこ</p> <p>子どもが大好きな食べ物たちがバスに乗ってお出掛けします！どこにいくのでしょうか？</p>	 <p>ノラネコくん だんおすしやさん 作：工藤 ノリコ</p>	<p>ノラネコくん だんおすしやさん 作：工藤 ノリコ</p> <p>ノラネコくん だんおすしを食べるために、おもしろいアイデアを思いつきます！</p>
 <p>11ひきのねこ 作：岡場のぼる</p>	<p>11ひきのねこ 作：岡場のぼる</p> <p>11ひきのねこがおいしいそうコロケをたくさん作ります！みんなで協力して作る愛がとてもかわいいです！</p>	 <p>たんけんライト 作：石井 瑠子</p>	<p>たんけんライト 作：石井 瑠子</p> <p>体の中からどうなっているんだろう？食べ物の消化についてだけでなく、色々なことが書いてあります！</p>

2023年度後半までの活動からの気づき

1. 子育て支援の講師との活動を行うことで、親子交流の機会や子育ての知識を保護者に提供することができた。また、学生も講師との活動の中で子育て支援の方法を学ぶことができた。
2. それぞれの活動を終えてからの反省評価を行った。次の活動には反省評価を活かし、取り入れていくことで、活動の準備や活動内容をより良くしていくことができた。
3. 親子遊びの会で作成した絵本の紹介、玩具の作り方、親子遊びの会の紹介等の資料を提供していくことも、間接的な子育て支援となり得ることを学ぶことができた。

今後の課題

1. 子育て支援の講師との交流を重ねて、支援の方法を身に付け、それを実践に活かしていきたい。
2. 今後の子育て支援の活動に向けて、学生ボランティアの中で活動の意義について意見交換を行い、共通理解を深める。
3. 子育て支援に活用できる資料を作成提供していくことで、間接的な子育て支援の質を高めていきたい。

ご清聴ありがとうございました。

宇都宮共和大学 親子遊びの会